

すくすく  
ジャパン!

# 子ども・子育て 支援新制度スタート

## ● 制度の概要

待機児童の解消をはじめ、子育てをめぐる様々な課題を解決するために、子ども・子育て支援法に基づき、「子ども・子育て支援新制度」が、平成27年4月から始まる予定です。この制度では、幼稚園、保育所、認定こども園に関する利用料等の共通の仕組みを定め、認定こども園制度の改善等を行うとともに、乳幼児期の教育・保育の量の拡充・質の向上を進めます。

## ● 県内の取組

「子ども・子育て支援新制度」は、市町村が実施主体となり、国と県は市町村を重層的に支える仕組みとなっています。市町村では現在、制度実施に向けて、保育料等に係る各種条例の制定や、市町村内の子育て支援の需要量や幼稚園・保育所等の確保方針が盛り込まれる、子ども・子育て支援事業計画の策定を進めています。県においても、市町村への情報提供を行うとともに、子ども・子育て支援の基本的な視点や乳幼児期の教育・保育の目指すべき方向性、市町村計画の数字を積み上げた県全体の需要量と確保方針、その他の関連施策を記載する「沖縄県子ども・子育て支援事業支援計画（仮称）」の策定に向けた作業を進めています。

## ● 保護者の皆様への情報

公立幼稚園や保育所、新たに始まる小規模保育事業などの利用を希望される方には、要件に基づき、認定証が交付されます。お住まいの市町村の担当窓口で

申し込みをお願いします。詳しい内容につきましては、是非一度、お住まいの市町村へお問い合わせください。また、私立幼稚園の利用を希望される方は、入園を希望する園で、直接申し込みを行ってください。

- ## ● お問い合わせ
- 公立幼稚園や保育所等の利用について  
**お住まいの市町村の担当窓口**
  - 保育サービスの仕組みについて  
**県子育て支援課 電話:098-866-2457**
  - 公立幼稚園の仕組みについて  
**県義務教育課 電話:098-866-2741**
  - 私立幼稚園の仕組みについて  
**県総務私学課 電話:098-866-2074**
  - 沖縄県子ども・子育て支援事業支援計画（仮称）について  
**県青少年・子ども家庭課 電話:098-866-2174**



県の子ども・子育て会議の様子



学びの基礎力育成支援事業:幼保間交流(保育士による公立幼稚園での絵本読み聞かせ)



内閣府 子ども・子育て支援新制度ロゴマーク



仕掛けた網カゴを引き上げ車エビを収穫の様子。



海洋深層水を使った海洋温度差発電実証設備

わんがイチバン!  
**ムラ自慢 シマ自慢**  
シリーズ連載 ⑨

# 久米島町

KUMEJIMA

自然のパワーに満たされた  
表情豊かな球美の島

琉球王朝時代、琉球で最も美しい島と讃えられ「球美の島」と呼ばれたことが、その名の由来になったという久米島。サンゴ礁の海に囲まれた起伏に富んだ島は今なお、その美しさを誇り、冬場には、その豊かな自然のもとで東北薬天ゴールデンイーグルスのキャンプが開催され、賑わいを見せます。

近年は、日本最大級の海洋深層水の取水設備があることでも注目を集めています。平成12年から設備が稼働し、海洋深層水を利用したさまざまな商品が生みだされ、島の主要産業へと成長。車エビの養殖でもその力を発揮し、生産量日本を支えています。加えて現在、海洋深層水の温度差を利用した発電の実証実験が行われているのはじめ、農業や水産業でのさらなる複合的な利用が期待され、その展開は注目の的。今後も大いなる自然の恵みを活かし、ダイナミックに成長し続ける久米島から目が離せません。



統一ブランド商品「沖縄久米島印」久米島町内の加工食品や飲料品10品の包装デザインを統一し、2013年より久米島ブランドとして売り出し中。泡盛や海洋深層水で作った塩、健康飲料、菓子など、好みで組み合わせることができ贈答品としても喜ばれている。  
販売元:久米島物産公社 ☎098-985-3636  
お問合せ:久米島商工会 ☎098-985-2630

NIPPON-ICHI NO.1 久米島町これがイチバン

## 車エビの生産量日本一

県内初の車エビの養殖が久米島で行われるようになったのは昭和49年。以来、試行錯誤を重ね、今では年間210~240トンの生産量を誇り、堂々の日本一。さらに、海洋深層水を使うことで稚エビの育成も可能になり、県内各地の養殖場に稚エビを出荷するなど、久米島のみならず沖縄の車エビ養殖を支えています。車エビの収穫は11月から7月頃まで続き、そのほとんどが本土向けに出荷。昨年は台風で養殖場に被害が出たものの、現在、順調な回復を見せています。

ブリッとした新鮮な車エビはお刺身でも、フライでも抜群の美味しさ